

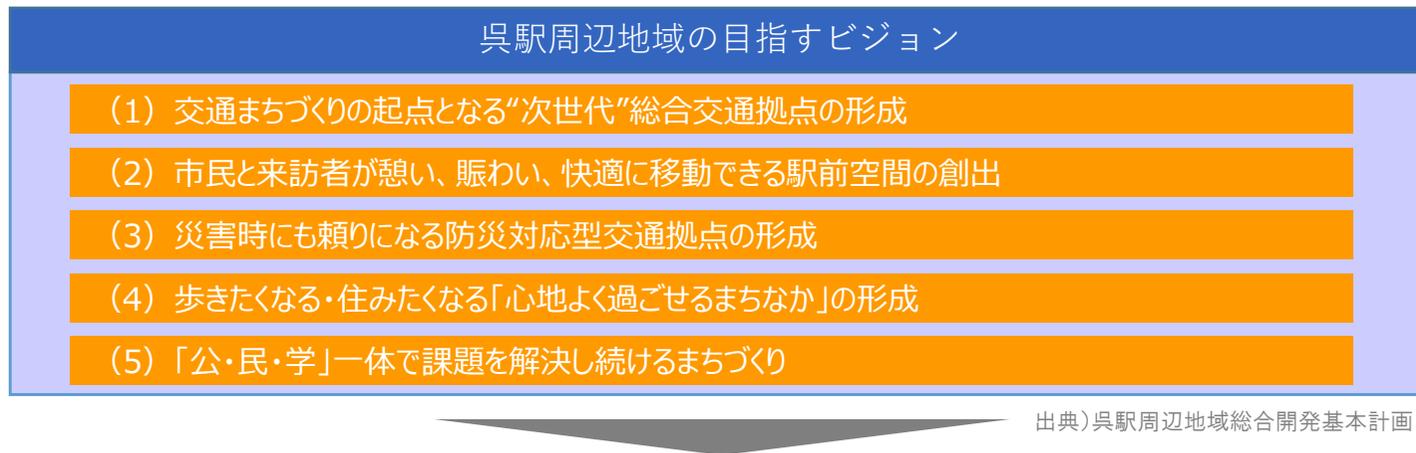
第1回検討会の振り返り

1. 呉駅周辺地域の目指す姿
2. 整備の方向性および4つの主要機能
3. 対象範囲
4. 交通課題と対策(案)
5. 第1回検討会での委員の皆様からのご意見への対応

1. 呉駅周辺地域の目指す姿

呉駅周辺の課題や呉市の将来像をふまえ、5つの機能を備えた、道・港・駅・まちが一体となった『安心・安全・快適、「住む人」「来る人」全てにやさしいまち、呉』を目指す。

■ 呉駅周辺の課題と将来像を踏まえた呉駅周辺地域の目指す機能



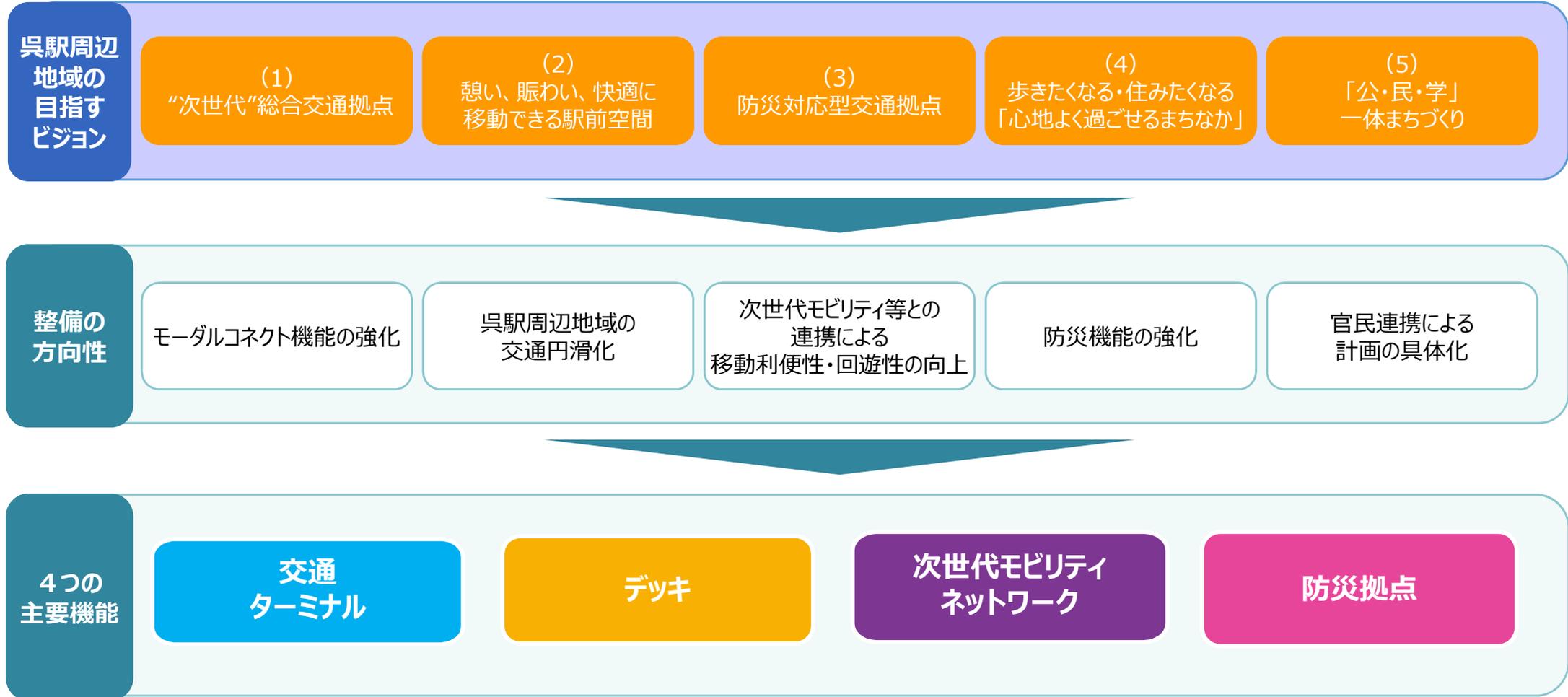
< 呉駅周辺地域の目指す姿 >

道・港・駅・まちが一体となった
『安心・安全・快適、「住む人」「来る人」全てにやさしいまち、呉』

2. 整備の方向性および4つの主要機能

呉駅周辺地域の目指すビジョンを実現するための整備の方向性を設定し、4つの主要機能を対象に、官民連携して計画の具体化を目指す。

■ 呉駅周辺地域の目指すビジョンおよび整備の方向性の関係



2. 整備の方向性および4つの主要機能

■ 整備の方向性

モーダルコネクト機能の強化

- ・駅前広場にタクシー・自家用車乗降場とバスターミナルを整備することにより、呉駅北側の交通モードを集約
- ・デッキにより呉駅北側、呉駅、南側を結ぶことにより、モーダルコネクト機能を強化



呉駅周辺地域の交通円滑化

- ・駅前広場とデッキを整備することにより、歩行者と自動車の輻輳を解消
- ・自動運転や次世代モビリティの専用車線を整備することにより、安全・快適な道路空間創出



防災機能の強化

- ・駅前広場及びデッキを災害時の一時的な避難場所や帰宅困難者の受入空間等として活用することにより、地域の防災機能を強化



次世代モビリティ等との連携による移動利便性・回遊性の向上

- ・交通弱者を含めて、誰もが使いやすい次世代モビリティの導入に向けた環境を創出することにより、移動利便性・回遊性を向上

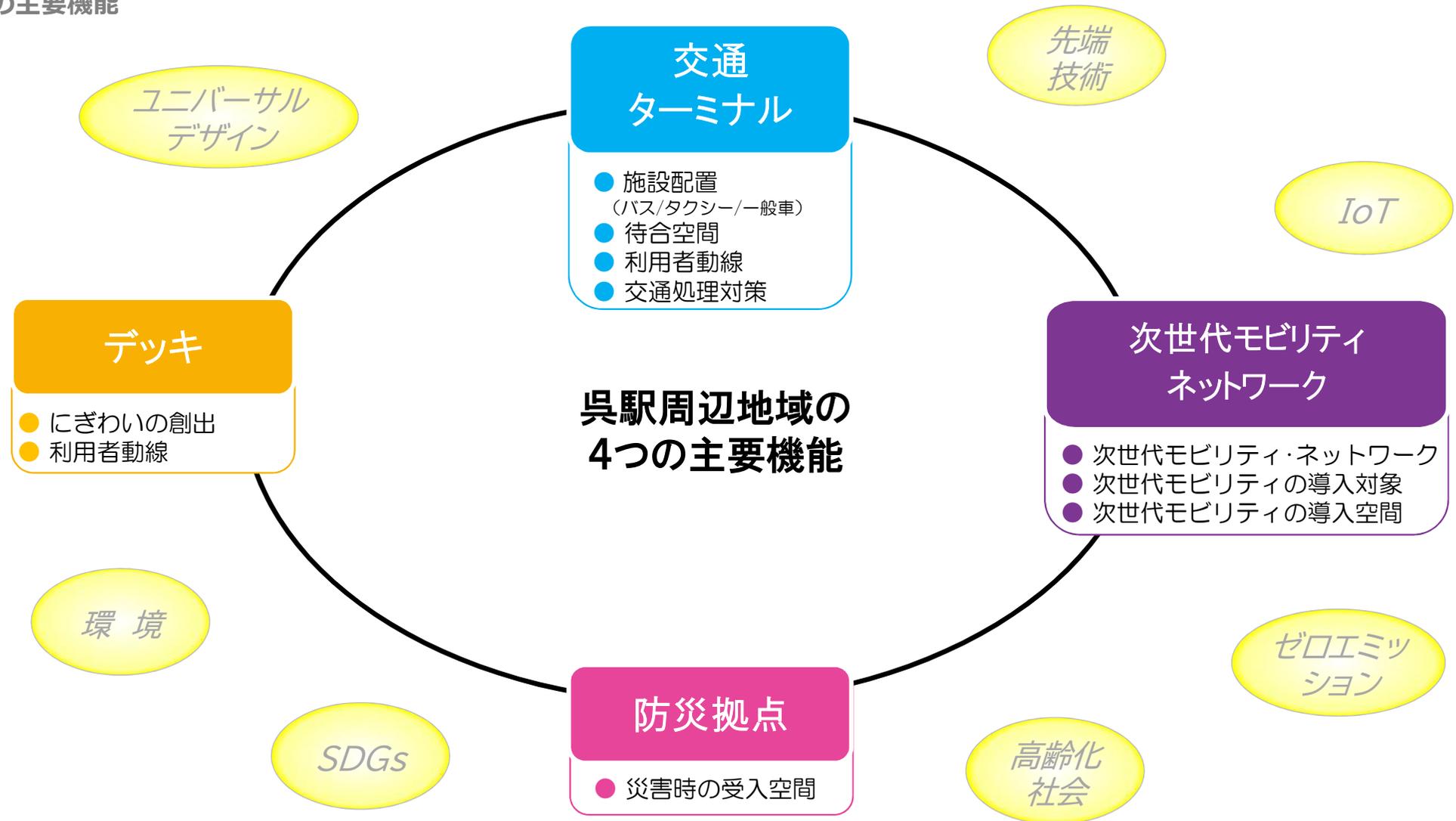
官民連携による計画の具体化

- ・民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携して計画の具体化を図ります。

2. 整備の方向性および4つの主要機能

整備する4つの主要機能の各検討事項について、今後協議を進め、計画の具体化を図る。

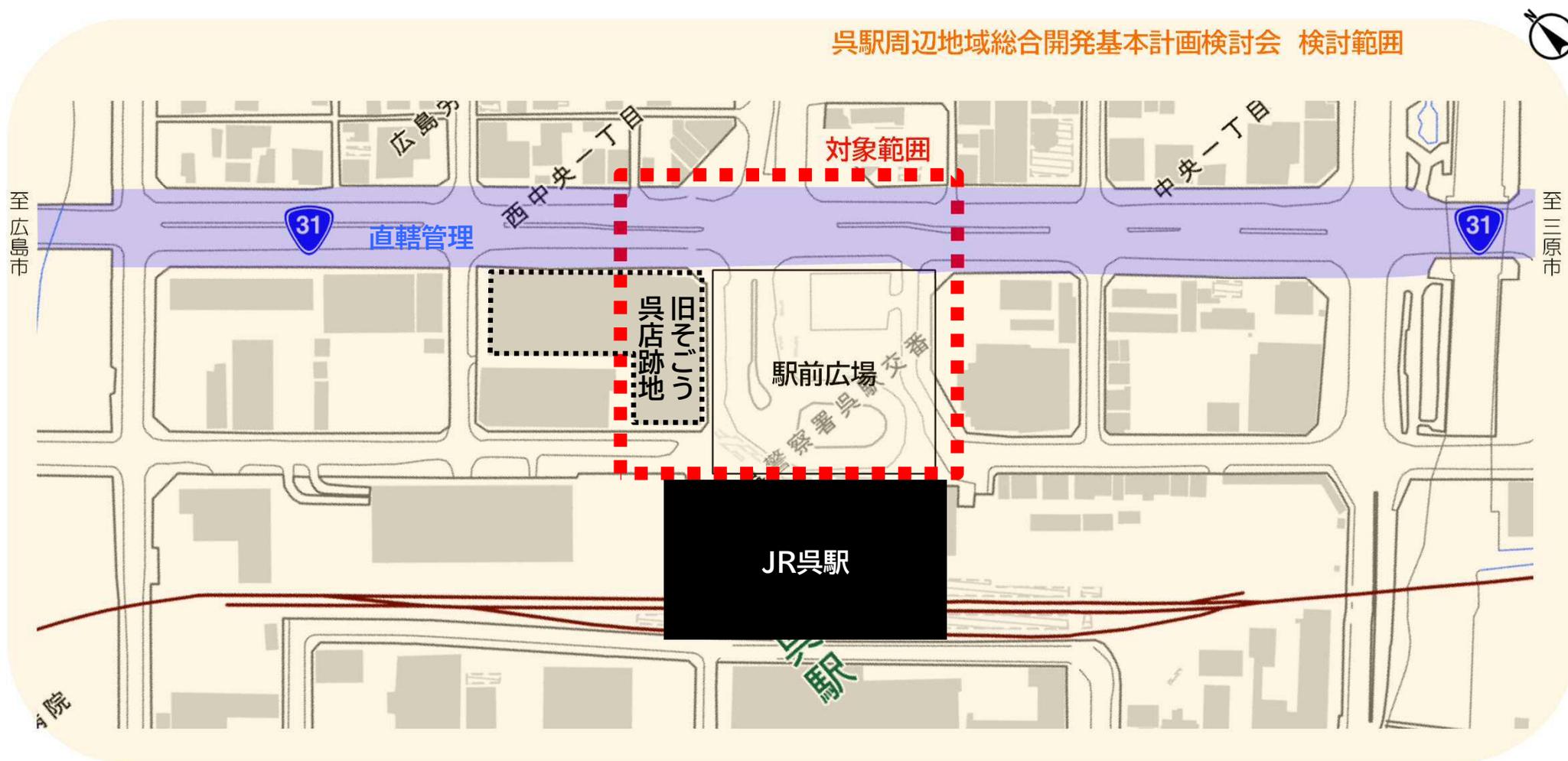
■ 4つの主要機能



3. 対象範囲

「国道31号等 呉駅交通ターミナル整備事業計画（仮称）」の対象範囲は、JR呉駅北側の駅前広場、旧そごう跡地、および国道31号とするが、呉駅周辺全体を考慮して検討する。

■ 事業計画の対象範囲

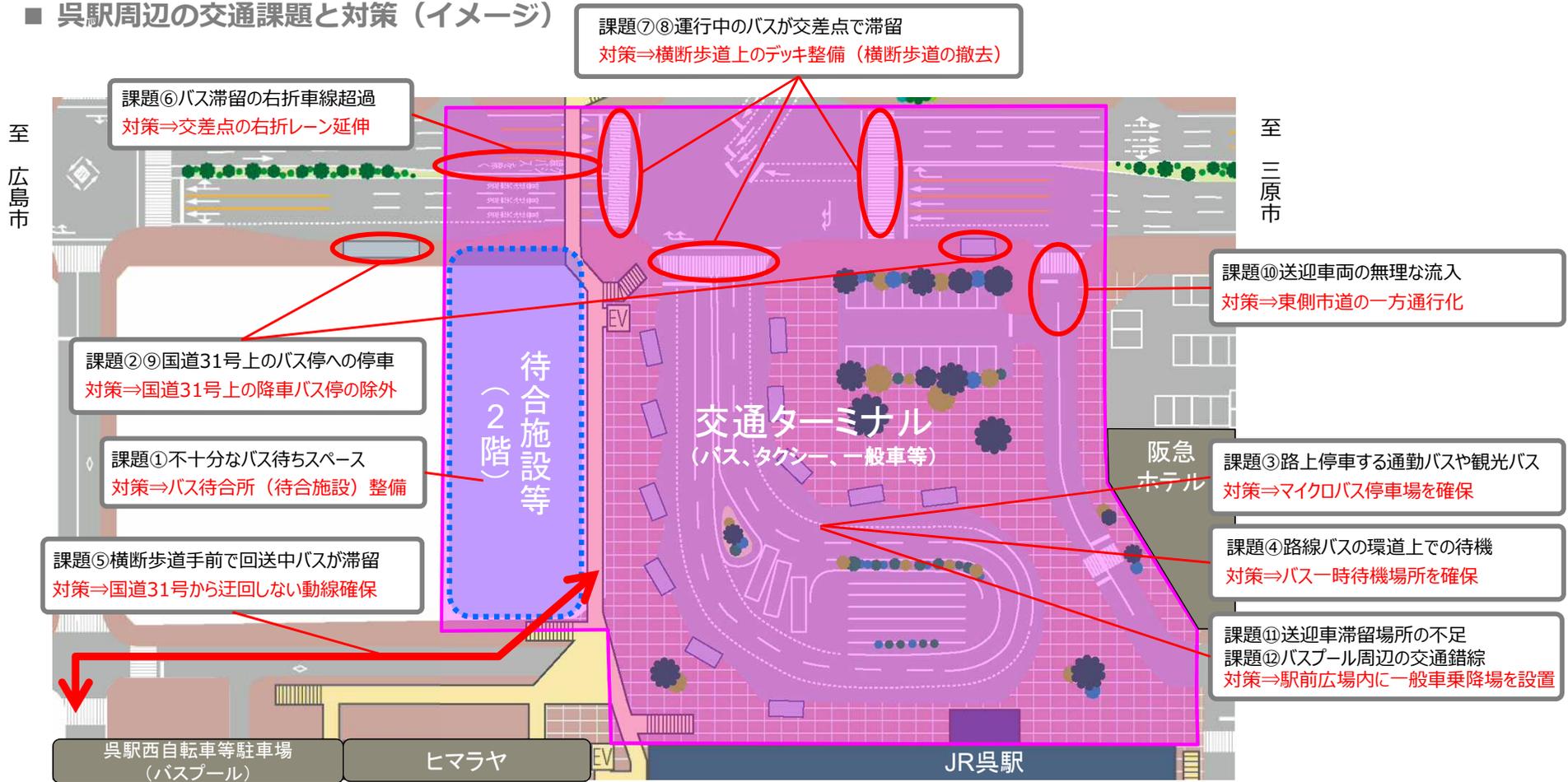


4. 交通課題と対策(案)

呉駅周辺の交通課題に対して、交通ターミナルの整備と並行し、対策を検討する。

- 前項までの交通課題①～⑫を解決する対策を検討する。
- 今後、関係機関と必要バース数等の具体内容について、ヒアリングを通じて、検討を行う。

■ 呉駅周辺の交通課題と対策 (イメージ)



※第1回検討会資料から一部図を修正

※レイアウトはイメージであり、整備内容を決定するものではありません。

5. 第1回検討会での委員の皆様からのご意見への対応内容

■ 主な意見と対応内容 (1/2)

No.	第1回検討会で頂いた主なご意見	対応内容	資料3 頁
検討の背景			
①	<ul style="list-style-type: none"> MaaSを含めた交通のソフトの部分の展開や災害時に防災拠点になることを想定すると、交通ターミナルの建築敷地のとり方が非常に重要。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ターミナル部分を建築敷地として取り扱い検討。 	—
②	<ul style="list-style-type: none"> 災害時には、駅前施設での情報提供や帰宅困難者を一時収容することなどの役割を意識し検討することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に導入すべき機能として、一時的な避難場所や帰宅困難者の受入空間、災害時の情報発信などの機能を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> P.17
検討会について、交通ターミナルについて			
③	<ul style="list-style-type: none"> 呉駅周辺を含め、トータルデザインとして議論することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 呉駅周辺地域総合開発との調整を図りながら、検討。 	—
④	<ul style="list-style-type: none"> 待合施設からバス停への利用しやすい動線の確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> デッキ整備による上下方向の歩行者動線を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> P.4
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 将来の新たなモビリティへの対応もふまえた、交通ターミナルの形状を検討しておくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の新たな技術導入も見据えながら、次世代モビリティの導入を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> P.11
⑥	<ul style="list-style-type: none"> 呉駅前から国道31号を越えて北側の商店街へ人が流れる動線を考えることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ターミナルと国道31号の北側歩道をつなぐデッキを検討し、利用者動線を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> P.4
⑦	<ul style="list-style-type: none"> 一般車両や歩行者が安全に利用できるように、動線や待機スペースを考えておくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> デッキ整備による上下方向の歩行者動線を導入することで、歩行者と自動車の輻輳を解消し、安全な歩行空間を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> P.3 P.4 P.6
⑧	<ul style="list-style-type: none"> 足の不自由な方もおられるため、送迎スペースと駅との位置関係などレイアウトを考える上で考慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザイン化を推進し、利用者が利用しやすい施設配置を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> P.3 P.4

5. 第1回検討会での委員の皆様からのご意見への対応内容

■ 主な意見と対応内容（2/2）

No.	第1回検討会で頂いた主なご意見	対応内容	資料3 頁
検討会について、交通ターミナルについて			
⑨	<ul style="list-style-type: none"> デッキは、1階部分全体を覆うのではなく、歩行者の動線もふまえて採光や採風を考慮して考えることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ターミナル1階部分への採光や採風を考慮し、デッキを検討。 	<ul style="list-style-type: none"> P.8
⑩	<ul style="list-style-type: none"> デッキは、平常時と災害時の対応やコロナによる生活習慣の変化を踏まえて機能配置や空間構成に可変性をもたせることや、平面的な配置に加えて、上下方向の動線の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 平常時に賑わい空間として活用する空間を、災害時には防災空間として活用することを整理。 乗換動線を踏まえ、階段やEVを設置し、デッキ整備による上下方向の歩行者動線を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> P.8 P.4
⑪	<ul style="list-style-type: none"> バスやタクシーだけでなく、将来の新しい交通の姿や高齢者も安心して使える新しい次世代モビリティなど、呉市の交通軸と都市軸について検討を行い、その受け皿が交通ターミナルとなるようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の次世代モビリティ・ネットワークを踏まえ、新しい次世代モビリティの乗入を考慮した交通ターミナルを検討。 	<ul style="list-style-type: none"> P.11 P.12
⑫	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場や道路空間などに関して、賑わい空間や次世代モビリティ走行空間などへの活用についても検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の新たな技術導入も見据え、次世代モビリティ導入や自動運転走行などを検討。 	<ul style="list-style-type: none"> P.11 P.12
⑬	<ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティの計画やアフターコロナの需要などの将来の不確実性をふまえた議論が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携しながら、議論を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> P.11 P.12
⑭	<ul style="list-style-type: none"> 強靱性と効率性の両立を図ることが重要であり、平常時と災害時に機能する仕組みが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> デッキを一時的な避難場所や帰宅困難者等の受入空間として活用するなど、平常時と災害時を踏まえた機能を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> P.18
⑮	<ul style="list-style-type: none"> 交通ターミナルの将来の管理・運用の在り方も議論することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回以降で、今後整備する施設の将来の管理・運用の考え方を整理 	—